

許し

ツーソン アリゾナ州 アメリカ合衆国

1963年10月28日

1 祈りのために少しの間立ったままでいましょう。さあ、頭を下げましょう。

私たちの天のお父様、私たちは救われた人々の中にここに立つことは大きな特権であるとみなし、教会のこの輝かしい古い賛美歌「主よ、私は信じます」を歌うことができます。時代を超えて、私たちの先祖の信仰がまだ彼の子供たちの心の中に生きているのを見るために。そして、その歌がちょうど私たちに言ったように、「私たちはカナンに向けている」。父よ、今夜、私たちは祈ります。ここにまだその決定をしていない人がいたとしても、まだその場所に来ていないのです。彼らはみことばを信じるだけでいいのです。これが彼らが最終決意をする夜になることを祈りますキリストを救い主として受け入れ、彼の霊で満たされるようにです。

フルゴスペルビジネスマン(全福音ビジネスマン)と呼ばれるこのグループと、その基準となること、義について、あなたに感謝します。私たちの国には、ビジネスの世界で、あなたに仕え、他の人に話し、彼らのお金と時間を使って他の人を助けるために時間をかけ、神の御国の民になる人々がいることを知ってうれしいです。

2 今夜ここにいる私たちのミニスターの兄弟たち、たいまつを持っている人たち、この暗い世界に栄光に通じる道があることを示すために、生きている神の教会のすべてのメンバーのために、そして来てくれた人たちの故にあなたに感謝します、主よ、新しく来られた方たち。私たちは今、みことばを開くために努力するとき、あなたが私たちが必要としているようにそれを人々に分けてくださるように祈ります。そして、礼拝が閉まっているとき、今夜、そして私たちが家に帰るとき、王国に生まれたばかりの赤ん坊が加わるかもしれません。あるいは、今夜ここに誰かがいるかもしれません、主よ、非常に病気で、偉大な医師に触れられることを必要としています、彼らが今夜それを受け取ることが出来ますように。主よ、それを認めてください。そして、私たちは謙虚にあなたに賛美を捧げます、なぜなら私たちはそれをイエスの御名によって、あなたの御子に尋ねるからです。アーメン。

どうぞおかけください。

3 それは私の人生で最も素晴らしい時の一つです。人々の前に立ち、私の人生の喜び、イエス・キリスト、彼が私にとって何を意味するのかについて話し、そしてこの喜びを他の誰かと分かち合う特権を持つ時です。この喜びを一度も持ったことがない人と。先日話していました。私はかつて少年の説教者でした。宣教奉仕においてこれは33年目になります。そして、私は少年の説教者の評判に基づいて生きました。しかし今、私はその時を過ぎ、そして今、私は年長の説教者になりつつあります。

しかし、彼は毎日、その歌が言っているように、「彼は前日よりさらに優しくなります」。私が始めて、中間点を越えて、太陽の夕日に目を向けると、キリストは日々私にもっと近づいてきます。そして、私がこれらの特権を持っているときは、コミュニティのビジネスの男性と女性の前に立ち、彼らにとって世界の何よりも意味のあること、つまり永遠の命について話します。私が考えることができる物で、永遠の命以上のものはないと思います。

4 あなたが若いとき、あなたはまあ、あなたがたは独楽を回している男の子として考え始めます、そして、小さな女の子は紙の人形を切ったかもしれません。しばらくすると、教育になるのです。それでは、茶色の目か青い目の女の子のどちらと結婚するのでしょうか？そして、家の代金が支払われ、子供たちは教育を受けます。そして、あなたはどこにいますか？

しかし、これがすべて終わった後、私は本当の何かがあることをとてもうれしく思います。その時、これらの他のものよりも意味のある何かに入ります。それらはどれですか—それらは不可欠です。確かに、彼らは、私たちの…の母、私たちの子供たちの父、私たちの家など、そして子供たちの教育となるのです。しかし、それでも、すべてが減びます。それは行きます。しかし永遠の命は私の知るうちの最も偉大なことです。幼い頃は満足しました。中年になった今、私を満足させます。そして、私の人生の幕が下がる時、私は私の人生を過ごした理由の方に会いに行くことで幸せになると確信しています。

5 さて、ここの支部の会長であるトニー兄弟に、そして今夜彼と交わり、カール・ウィリアムズ兄弟や他の支部の幹部や代表者、そして訪問者の皆さんと一緒にここにいることができうれしいです。私たちはここに来られてうれしいです。

ある時、私はロビンソン記念講堂のアーカンソー州リトルロックにいて話していた時だと信じて居ます。そして、そこに癒された人がいました、数年間松葉杖を使って、通りに立って、鉛筆を売っていました。そして、彼はああ、ひねる事しか出来ませんでした。彼の手足は麻痺していました。そして、その辺を移動していました…人々は彼をひどく気の毒に思いました。ある夜、彼は集会に参加しました。そして、彼はプレイヤーカードを手に入れ、列に並び、癒されました。

6 そして翌日、彼は松葉杖を背負って通りを上下に歩き、証言しました。そして、私は話そうとしていました。そして、そして彼が立ち上がった後、彼は「ブラナム兄弟」と言いました、「私はちょっと終わりに近づいています」と彼は言いました。彼は「あなたが話しているのを聞いたとき、あなたはナザレ派だと思った」と言いました。それが彼の姿です。そして彼は言いました、「そして私は周りにたくさんのペンテコステ派を見ました」と彼は言いました、「誰かがあなたがペンテコステ派だと言いました。そして、あなたがバプテストである、またはバプテスト教会で按手されたあなたが言うのを聞きました。」言ったのです「それは皆私を混乱させています。あなたは何ですか？」

私は言いました「ああ、それは簡単です。私はペンテコステ派のナザレのバプテストです。」だから、それは一緒です。

7 数年前、主が私を送ってくれたペンテコステ派の人々の中に来たとき、彼は病気の子供たちのために祈るように命じられました。そして、私がある時に一緒にいた自分の宗派の教会は、病人のために祈ることや神の癒しをあまり信じていませんでした。それは彼らにとって異質でした。彼らは私がホーリーローラーになったと言いました。そして、まあ、多分私はホーリーローラーになっています。わかりません。しかし、私が何であれ、私はひどく幸せです。そして、誰かが私は気が狂ったと言いました。私は言いました、「それなら私を放っておいてください。私は他の方法よりもこの方法の方が幸せだからです。」だから私は一このように気分がいいだけです。そして私は…言葉では言い表せないほどの喜びにあります。

しかし、私がペンテコステの人々の中に来たとき、私は彼らのグループは1つだけだと思いました。そして、調べてみると、私が来たバプテスト教会と同じくらい多くのグループに切り取られています。だとすれば、私はどのグループにもつきません。私は彼ら全員の間立って、「私たちは兄弟です」と言おうとしました。分かりますか？それ以来、それが私の態度です。生ける神の偉大な教会が信仰と祈りと努力で団結するのを見ることです。

8 そして、全福音のビジネスマンは組織ではないので、彼らの有機体を設立したとき。彼らは有機体なのです。そして、それはすべてのグループを受け入れました。そしてそれは私に場所を与え、彼らは私を彼らの翼の下に連れて行きました。そして、クリスチャンのビジネスマンのために話す機会を与えられたことにとっても感謝しています。そこでは、すべてのグループの間で同時に自分の信念を表現することができるからです。そして、それは私にとって素晴らしいことでした。そして私は1つの組織、つまりフルゴスベルビジネスマン(全福音ビジネスマン)に属しています。

そしてそれを行うために、私たちが計画しているアフリカに、すぐに行く南アフリカにあります。主が私たちにこれまでに与えたと思われる最大の集会の1つを与えてくれたのは、南アフリカでした。3万人の先住民が午後の礼拝でキリストを救い主として受け入れるのを見ました。彼らは3万人を登録しました。

翌朝、ダーバン市長のシドニー・スミスが集会に出席していたことで私に電話をかけてきました。スタジアム、または競馬場には約20万人がいました。そして彼は、「あなたの窓に行って、窓の外を見てください」と言いました。そして、7つのバンいっぱいの人達が来ていました。そして、彼らの素晴らしいイギリス産のトラックは、実際には、ほぼこの部屋の向こう側全体にあり、松葉杖と車椅子でいっぱい、そして前日に人々が置いていたものでいっぱいでした。そして、彼らはトラックの後ろを歩いて、手を空中に上げて、あなたが少し前に歌った歌を歌っていました。「ただ信じなさい、なんでもできる。」

9 そして、私は心から、「主よ、これは私にとって記念日になるでしょう」と言いました。そして数日…その日…私はたった3日間しかそこにいませんでした。そして、それが私が今再び戻ろうとしているところです。そして、そこで3日間、私は一緒にあったすべてが何なのかを知りません。それは、主がプラットホームでなされたたった一つの奇跡によってもたらされました。犬のように手足を使って歩いていた少年に、人々の前で彼を正しい心に戻し、体も戻ったのです。そしてその前日、彼らは部族戦争をしていたので、それらの人々はフェンスで囲まれなければなりません。そして今、彼らは平和になり、腕を組んで歩き、「ただ信じるならば、なんでもなされる」と歌いました。

言っておきますが、古き良き福音は、その単純さの中に、キリストの復活の単純さで説教されたときのその力を失ったことはありません。そして私は…それは毎日私にとってどんどん大切になっているのです。

10 そして、あなたが今夜ここでビジネスマンであり、ビジネスマンのフェローシップに参加したことがない場合は、このフルゴスペルビジネスマン(全福音ビジネスマン FGBM)をお勧めします。あなたはどの教会にも属している必要はありません。あるいはあなたがいる教会に属している必要はありません。それは完全に大丈夫です。「フルゴスペルビジネスマン」というタイトルが付いています。しかし、それを行うのに全福音の人である必要はありません。メソジスト、バプテスト、ルター派、長老派、カトリックの司祭でさえ、そこにいる人は誰でも。

ご存知のように、私はヤコブが井戸を掘り、ペレステ人が彼をそこから追い出したと信じています。彼はそれを「悪意」などと呼んでいたと思います。彼は別のものを掘りました、彼らは彼をそこから逃れさせたのです。彼はそれを「争い」と呼んだ。そして彼らは3つ目を掘りました。彼は「私たち全員のための余地があります」と言いました。だから私はこれがそうだと思います。ここには私たち全員のための余地があります。そして、このツーソン地区にあなたが来て、私たちと交わりを持ってくれることを嬉しく思います。

11 そして、フェニックスでの集会を忘れないでください。そして今、私たちはこのプラットフォームから広告を出すことになっていないことを知っています。なぜなら、私たちはそれをポリシーにしたからです。しかし、これはすべてフルゴスペルビジネスマンと関係しているので、私は病人のために祈り、ラマダでの集会の4日前に、来たる12月に説教することになっています…[誰かが「1月」と言います。一編集] 1月…[「19日から23日」] 19日から23日。4日間。19日から始めますよね? [「ええ。」] 私は19日から始めます。そして、4日間の集会があります。

そして、あなた方ツーソンの人々へ、次の日曜日の夜、私は病人のために、アーノルド・マック兄弟の教会であるグラントウェイの神の集会で祈ります。病気の人がいて、入って来たいと思ったら、私はそこで話します。御心ならば次の日曜日の夜、病気の人のために祈ります。

12 そして今、神の祝福があなたにかかっていますように。そして、もしあなたが聖書を持っているなら、私はあなた方の多くが明日仕事に行くことになっているのを知っているので、私は早くみことばに行きたいと思えます。そして今夜、私はローマ人への手紙、ローマ人への手紙第8章から読み、その聖句からあなたがたに話します。そして、28節から始めて、32節まで読み進めていきたいと思えます。ローマ人への手紙第8章28節。

神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。

神はあらかじめ知っておられる者たちを、更に御子のかたちに似たものとしようとして、あらかじめ定めて下さった。それは、御子を多くの兄弟の中で長子とならせるためであった。

そして、あらかじめ定めた者たちを更に召し、召した者たちを更に義とし、義とした者たちには、更に栄光を与えて下さったのである。

それでは、これらの事について、なんと言おうか。もし、神がわたしたちの味方であるなら、だれがわたしたちに敵し得ようか。

ご自身の御子をさえ惜しまないで、わたしたちすべての者のために死に渡されたかたが、どうして、御子のみならず万物をも賜わらないことがあろうか。

13 主が御言葉を読むことに祝福を加えてくださいますように。そして今、私は次のテーマについて話したいと思えます:許し。聖書はここで、今夜も「彼は私たちにすべてのものを与えてくれた」と言っています。まあ、確かに「すべて」について話すことはできません。しかし、私たちは彼が私たちに与えてくれた一つのことを取り上げます。それは許しです。そして、それは「許される」という素晴らしい言葉だと思います。なぜなら、私たちは皆罪を犯しているからです。私たちは皆罪を犯しており、神の栄光を受けるにはたらないのです。そして神は御子を通して、この不法と罪から私たちを赦してくださいました。

14 そして、許しは私が一度読んだ物語を思い出させます、革命戦争で、私はそれであったと信じています。それは、何かをした男、兵士、足の兵士がいました…裁判所は彼に罪を認め、彼は射殺されるという判決を受けました。戦いの時の彼の任務を怠ったのがその罪だったと私は信じています。そして彼一彼は発砲部隊によって殺されることになっていました。

そして、ある人が、彼がついに偉大なリンカーン大統領に行くまで、この男をととても気の毒に思いました。リンカーン、クリスチヤンの紳士でありましたので…彼らはメッセンジャーが彼に会ったとき彼が彼の馬車に乗っていたと言いました。そして彼はひざまずいて言いました。米国のリンカーン大統領、親切な方」と彼は言いました。「あなたがクリスチヤンであること、そしてあなたが心配している心に優しいという事を知っているので、私は慈悲を求めます。」彼は言いました。「私の友人は彼が駐留していた職務にいましたが、銃が轟音を立てて大砲が発射されたとき、彼は怖くなり、職務から離れました。リンカーン氏、彼はそうするつもりはありませんでした。彼はいい人です。そして今、この日から一週間で、彼は発砲隊によって死ななければならないことになっています。あなたが彼の許しに署名する以外に彼を救う方法はありません。」

15 リンカーン氏は涙を浮かべて、彼のブリーフから一枚の紙を引き出し、そこに「私、アブラハム・リンカーン、この人を許してください、そして死ぬことはありません」と書き、それに彼の名前を署名しました。

そしてその人は彼に神の祝福を与えました。そして刑務所に戻り、彼の友人に「私はあなたの免罪を持っている」と言いました。そして彼はそれを一枚の紙の上に引き出して見せました。

そしてその男は言いました「私をあざけるなここで私は死ぬように定められている、そしてその後にもそのようなものが来るのですか？私はそれを信じていません。ただ信じられません。そうではありません。誰でも彼の名前「アブラハムリンカーン」を署名することは出来ただろう。」

彼は「しかし、これは大統領の署名です」と言いました。「あなたは許されている」と言いました。

そして彼は背を向けて立ち去った。そしてその男は発砲隊の下で亡くなりました。

そして、ここに、この男を解放するための、米国大統領であるアブラハム・リンカーンからの解放がありました。彼らは彼を撃ちました。それで、それは連邦裁判所で裁判にかけられました。そして、ここに「それが許しとして受け入れられない限り、許しは許しではない」という決定がありました。

16 ですから、私が読んだ今夜に、神は私たちにすべてのものを与え、神は私たちに許しを与えてくださいます。それは神の言葉を許しとして受け入れたい人々への許しです。しかし、それは私たちが読んだだけで、あなたが許されているという意味ではありません。それはあなたがそれをあなたの許しとして受け入れなければならないこと、神があなたの代わりに死ぬために彼の息子を与えたことを意味します、そしてそれは許しです。

罪から解放されている、私たちがこれに置きたいものです。神からの許しは罪からの解放です。教会に参加したり、信条を取り入れたりして、正しいことをしたと少し感じさせるような心理学の教義によって背を向けることではありません。しかし、それはカルバリーでの力によるあなたの罪からの解放です。何かがあなただけを解放しました。もう罪はありません。聖書は、ローマ人への手紙第5章1節で、「それゆえ、今や、キリストイエスにおいて肉ではなく霊の内に歩んでいる故罪に定められることはない。」と言っていると私は信じています。

17 さて、人は、罪から解放されたとき、男性あれ女性であれ、世の事柄を追いかけたいという彼らの心の欲求はもうありません。彼は自由に許され、キリスト・イエスにおいて新しく創られたものになります。そして、彼の愛情は、キリストが神の右座に置かれる、上にあるものに置かれています。彼は自由に解放されました。彼に言うために司祭や牧師がいる必要はありません。彼は、神がイエス・キリストを通してそれを彼に送ったという事でそれを受け入れたので、彼は自分が許されていることを自分自身で知っています。罪から解放されるなんて、なんて素晴らしい気持ちなのでしょう。

18 何年も前に南部の奴隷のために宣言の解放が署名されたとき、彼らが自由であるという決められた時間は特定の朝の日の出であると言われました。そして、彼らは皆、古いプランテーションから出ました。そして、若い男性の多くは、最初に太陽が昇るのを見ることができたので、山の頂上に登りました。次に、年配の男性が少し下に居て、そして一番下にいる女性と子供たちも見ることができました。そして、彼らは日がのぼって来るまで長い間待っていました。と言うのは、奴隷のベルト、厳しい試練は彼らの人生に悲しみを与えました、そして彼らは彼らが許されていることを知ったときその日を待ち望んでいました。そして解放宣言は「この特定の日、日昇時に、彼らは自由である」と言いました。そして、彼らは太陽が昇るその時を見たいと切望していたので、彼らが山に登るまでとても心配していました。

ああ、もし今夜の罪人があなたが許されていることを知りたがっているだけなら。イエス・キリストを救い主として受け入れた瞬間、あなたは許されます。その後、あなたは許されます。

彼らは若い男性達が待っていたと言っていました。そして、太陽が東に輝き始めるとすぐに、彼らは年長者に向かって叫びました、「私たちは自由だ!」そして年配の方達は、女性と子供たちに、「私たちは自由だ!私たちは自由だ!」と太陽が昇っていたからです。

19 ああ、人が罪に自分を捧げている時、そしてその朝、神の御子が墓から出てきたとき、私たちの義化のために、それは国中の悲鳴であるべきだと思います。「私たちは罪と恥から解放されています。カルバリーの絆によって自由に許されました。」人類にこれ以上のものを与えることはできません。

人がエデンの園で罪を犯したとき、彼は大きな裂け目を越え、永遠のものから離れました。その時の人は神と共に永遠にいたのです。彼には病気も悲しみも死もありませんでした。人は死ぬために創られたものではありませんでした。地獄は人のために作られたものではありません。地獄は人類のためではなく、悪魔とその御使いたちのために造られました。なぜなら、彼らは神の息子と娘になるために地上で創造されたからです。しかし、人が罪を犯し、善悪の境界線を越えたとき、彼は自分自身を神から引き離し、自分自身を後戻りさせることはできませんでした。彼は完全に失われました。彼は罪を犯したので、彼は戻ることができませんでした。

しかし、憐れみに富んだ神は代用者を受け入れました。彼が「あなたがそれを食べる日、あなたはその日に死ぬ。」と言われていたからです。そして、神の義と神の聖さは死を要求しています。なぜならそれは神の言葉だからです。そして、神となるためには、御言葉を守らなければなりません。

20 そして今、彼が人類に対して持っていた愛、それでも彼らが彼から離れているのを見なければならなかった、そして彼がエデンの園で彼の子供たちと交わっていて、彼がそのすべての中になければならなかったその悲痛な状態にと言うのは彼の言葉が「あなたがそれを食べる日、その日あなたは死ぬ」と言ったからです。

そうすれば、神が何を言おうともそれは真実なので、私たちはこれに頼ることができます。それは実現しなければなりません。神は御言葉を取り戻すことはできません。なぜなら、神は無限であり、永遠だからです。そして彼の最初の決定はいつまでも決定なのです。彼はそれについてもっと学んだ為にそれを取り戻そうとする必要はありません。そもそも彼は無限です。したがって、神が何かを言うとき、それは完全にそのようなのです。それは完璧な決断なので、決して変更することはできません。

そして、神が行動されるする方法、つまり神の決断を受け入れる僕は、そのように神の決断を受け入れるすべての僕たちに永遠に作用します。したがって、もし彼が人を救う方法を作ったとしても、それは彼が最初に作った方法と同じままでした。そして、もし神が病人に癒しを約束したなら、それを信じる信仰によって、それはそのように変わらないのです。彼はそれを取り戻すことはできません。分かりますか?彼はこれまでと同様の方法でありつづけなければならないのです。

21 さて、神はエデンの園でその人の代わりを受け入れました、そしてそれは血の犠牲と言う方法でした。血が代償を払わなければなりません。そして、それは永遠に同じです。他の方法やそれ以外のやり方がこれまでに行われたことはありません。それ常に血潮なのです。神が彼の子供たちを取り戻す唯一の方法は、この血潮の代用によるものなのです。他の方法で代償を支払うことはできません。他の何もそれは出来ないのです。神の最初の決断は常に完璧であり、それは永遠です。そして、私たちはそれが真実であることを知っています。なぜなら、神は嘘をつくことができず、神の言葉を取り戻すことができないからです。その時以来、それが神の唯一の方法であり、人との交わりの唯一の場所でした。さて、その主題は…

22 さて、死という言葉は「分離」を意味します。私たちがこのように死ぬとき、それは…という意味ではありません。私たちの肉体的な死は、私たちが死んでいるという意味ではありません。イエスは言われました、「わたしを信じる者は、死んでも生きる。わたしを信じて生きる者は、決して死ぬことはない。」さて、その死は、そこで言えば、神の御臨在からの「分離」なのです。しかし、私たちがここで経験しなければならない肉体的な死、しかしそれは死ではありません。私たちはまだ神のご臨在の中にいます。私たちは彼の前で、この場所から彼とより近い場所へ移動します。私たちがここで死と呼ぶものは、死ではありません。

覚えていますよね、彼は死んでいた少女、ヤイロの娘に「彼女は死んでいないが眠っている」と言ったのです。

そして彼らは彼女が死んでいることを知って、彼を軽蔑して笑いました。それが彼らの言葉です、「彼女は死んでいた」。

しかし、イエスは「彼女は眠っている」と言われました。そして彼は行って彼女を目覚めさせました、そして彼女は生き返りました。

23 さて、アダムから今まで、人は彼自身の代用品を作ろうとしました。彼は神がその時よりも少し良いことをするために最善を尽くしました。そして、それは人間にとっては当然のことです。人は常に何かをより良くするために、それを別の方法にするために努力しています。彼は自分の考えを神の計画に注入したいと思っています。そしてそれが、私たちが今夜、世界中のクリスチャンの人々を、障壁や宗派の障壁によって隔てて立っている理由です。私たちは…その人が彼自身の考えを神の計画に注入したので、それがこれをするわけです。アダムから今まで、私が言ったように、それはそのようでした。

アダムは、エデンの園で、神と向き合うためにイチジクの葉でエプロンを作ったとき、それこそが人間の考えを表現していました。それは彼自身がしたことです。そしてイチジクの葉から、彼は教育、塔、都市、偶像、文明、宗派を試しました。しかし、それは今までと同じままです。神は血の下でのみ彼の僕たちを受け入れるのです。それだけなのです。

24 教育は完全に失敗しました。私たちがより多くの教育を受ければ受けるほど、お互いからより遠くなるのです。宗派は完全に失敗しました。私たちは線と障壁を描き、それぞれが他の宗派よりもその宗派を高くしようと試み、それが交わりを崩壊させるのです。文明は単に混乱をもたらしただけです。都市、塔、その他すべてが失敗しました。そして、神の計画は今も変わりません。血の下だけなのです。

この血潮は示された血でなければなりません。その園で…

むしろ、イスラエルの時代に戻って、イスラエルが子羊を殺し、かもいと入口の二つの柱に血を塗らなければならなかったとき、神がそれを要求されました。そして、その印は、他の位置に関係なく、そこになければなりません。彼らの男性達は彼らが割礼を受けたイスラエル人であることを示したかもしれません。彼らは「エホバが言うすべての言葉を信じている」と告白したかもしれません。しかし、それはそれを免罪にしませんでした。彼らはその印(証拠)を表示しなければなりませんでした。その血を見せなければならぬのです。

それが今夜のやり方です。私は、すべてのクリスチャンは、関係なく世の事柄から彼らを清めたイエス・キリストの血を見せなければならぬと信じています。

25 さて、その時、その印は扉になければなりません。家がどれほど宗教的であったか、人々がどれほど宗教的であったか、彼らが子供をどれほど上手に育てたか、彼らが教会にどれほど良くに出席したか、彼らが神が言われたすべてのことをどれほど上手に見せたかに関係なく、それ(印)がそこになければならぬのです。それでも、それが死と生の間に示されたその最後の時間に、その血が示されなければなりませんでした。そしてその血潮は、崇拜者の代わりに罪のない代用者が連れて行かれたことを示していました。そして、血の化学的性質、赤い血自体は、この家が血の下で安全であるというドアのしるしでした。さて、それが類似でした。

26 さて、これらの終わりの時に、私たちは再び神が彼の教会を救うための神の時に戻って来るのです。私一人はそれを信じています。そして、その血が記念碑を表さなければならなかったのと同じくらい確かに、印もそうでなければなりません。それは今日も要求されているのです。なぜなら、今、彼らは主イエスの血の化学的性質を取り、それをすべての心の扉に置くことはできなかったからです。

しかし、ご存知のように、その時、子羊である動物が死にました。そして、動物が死んだことを示すために、血が扉にありました。ですから、動物には魂がないので、動物の中にあつた命は崇拜者に來ることができませんでした。ですから、動物の中にあつた命は崇拜者に來ることができませんでした。

27 しかし、今日、神の御子の血潮が私たちの許しと解放のためにカルバリーで流されたとき、その血の中にあつた命は神ご自身だったのです。そして、聖霊は彼の教会、彼の信者に戻ります、そしてそれは、イエス・キリストの死を彼らの代わりとして受け入れた男性または女性を彼が過ぎ越す、この終わりの時のしるし(証拠)なのです。そして聖霊は記録を残しています。

「私はそれを受け入れました」と言うかもしれません。そして、あなたはまだ世に住んでいて、あなたはまだ世のように生きています、そして聖霊の証拠があなたの命に打たれるまで、その命があなたのためであったという証拠にはなりません。

この終わりの時の印として、すべての男性または女性が持っていなければならないという神の要求があ

ります。「私が血潮を見たとき。」

28 イエスは答えられた、「よくよくあなたに言うておく。だれでも、水と霊とから生れなければ、神の国にはいることはできない。」

したがって、それは常に神のプログラムでした、血。それは旧約聖書の血でした。それは新約聖書での血でした。

旧約聖書には化学があり、それは来るべき生命の倣いでした。それは代用者が連れて行かれたことを示していましたが、礼拝者は彼が入ってきて子羊を捧げたときと同じ罪の意識を持って出て行きました。

しかし、このように、「一度罪から追放された礼拝者がそれに対する良心を失ったとき」、物事は死んで亡くなり、あなたは死から命へと変わりました。そして、あなたは永遠のいのちとともにキリスト・イエスの中で再び生き、聖霊があなたの内に住み、イエス・キリストのいのちを再び生み出すのです。聖書の、ヘブライ人への手紙第13章8節で、「彼は昨日も今日もいつまでも変わることはない」と言っています。

神は、宗派に関係なく、信条、肌の色、またはそれが何であれ、教会全体がイエスキリストの死の印を示している場所に来るように、彼の教会がその位置に来るのを見る時を待っているのです。

「しばらくの間」と彼は言いました。「そして世はもはやわたしを見ない。それでもあなたがたはわたしを見るであろう。私が生きていますので、あなたも生きています。私はあなたと一緒に、あなたの中にさえ、世の終わりまでいます」イエス・キリストは昨日も今日もいつまでも変わることがないのです。

29 私は時々、神の聖人であると主張する神の男性、神の女性のクリスチャンの中にいるのです。彼らは証言を恥じています。彼らは「アーメン」と言うのを恥じています。彼らはシオンの歌を歌うのを恥じています。彼らはいたるところで恥じ入る状態なのです。私はイエス・キリストの福音を恥じていない人々の中に入るのが好きです。異端のように見えますが、それでも彼らは恥じていません。何かが起こりました、そしてそれは彼らにとって命以上のものを意味しています。それは命なのです。彼らが神の代理を受け入れたので、それは永遠の命です。

30 私はこの種の歌が好きです。私がそこに戻ったとき、少し前に、それがもたらされた人々の何人かのために祈っていました。そして、これは祈りの礼拝ではありません。ただ話すために。私はそこにいました。そして、私は歌、彼らの手をたたき音を聞くことができました。そして、私たちは疑問に思います…そして、彼らの何人かは、彼らが「霊の内踊る」と呼ぶ、床を上下に走るのを見ました。

ペンテコステ派の人々が御霊の中で踊っているのを見たとき、最初はそれを批判していました。そして私は思いました「これは何だ？それはナンセンスの集まりに違いない。」それから私は聖書を読み、そして私はそれを御霊の中で踊っているときに見つけました。悪魔はそれをコピーして、ロックンロールなどでここに出しましたが、本当の本物のダンスは神から来るものなのです。まさにその通りです。そして、常に、ダンスは勝利でした。

31 ダビデがゴリアテを殺し、この血色の良い少年がこの巨人の頭を街に引きずり込んでくると、人々は彼に会い、踊りました。彼らは勝利を収めました。モーセが神の力によって紅海を渡り、イスラエルの子供たちを向こう側に連れて行ったとき、ミリアムはタンバリンとイスラエルのすべての娘たちを拾い上げ、彼らが行った土手を上下に行き、タンバリンを叩きながら御霊の中で踊りました。それが昔ながらのペンテコステの集会でなければ、人生で一度も見たことがありません。問題は、私にとって、十分な勝利が得られなかったことです。しかし、あなたがついにその勝利を得て、イエス・キリストの血の印があなたに臨むとき。

32 聖書の偉大な詩編作者であるダビデを覚えています。彼が何かをしたとき、それは、大いなることで、彼はサウルの娘を与えられました。そして、彼女は一種の自慢の、自称の、いわゆる信者でした。そして、契約の箱は長い間神から離れていました、目に見える神の存在、火の柱がこの契約の箱の上にぶら下がっていました。ペリシテ人はサウルの支配下でその出入りをしていました。そしてある日、契約の箱が神の家に戻るのを見たとき、ダビデは契約の箱の前で走り出し、主の前で踊り、神への賛美を歌いました。そしてサウルの娘はその人の行動を非常にはじていたようでした。彼女の夫、彼女の若くてハンサムな夫は、王の娘である彼女の前で身を切り、良くない行動をしていました。そしてダビデは、「それが気に入らない場合は、しばらくこれを見てください」と言いました。そして、そして契約の箱の周りをぐるぐる回って、彼は再び霊の内踊りに行きました。そして彼女は恥ずかしかつた。そして神はその女性を呪いによって呪いました。

ああ、キリストの復活のしるしであるイエス・キリストの血による勝利、彼の人生は彼の教会の中で生きています。その血の下を他に、交わりする方法はありません。私たちの宗派は私たちを分離し、「それはナンセンスだ」と言う人もいます。そして、ある人はこれ、それ、または他のことを言います。

33 ペンテコストが私たちのパターンでした。ペンテコステの日に教会が発足したこと以外に何を言うことが出来るか、それ以外に誰も何も言う必要はありません。そして、その時代に彼らに臨むのと同じ霊が、必ず聖書の中で、聖霊が人々に臨むたびに、彼らは同じように行動しました。

私がある場所に行く機会を持っていた異教の地で、ブランケットを羽織る島の原住民とホットtentを旅して会うことが出た特権、そしてあなたが通訳を通して話さなければならない場所に彼らが立っている場所にあったという特権のある私にこれを言わせてください、彼らは人生で一度もイエスキリストの名を聞いたことはありませんでした。しかし、彼らに物語を伝え、彼らに手を挙げて神を受け入れるように頼みました。彼らはあなたが聖霊を受けたときにあなたがここですのと同じことをするのです。それが普遍的なものであることを示しています。それは全能の神の力であり、彼らの肌の色が、赤、黒、白、または何であろうと、彼の子供たちは彼の印が表されるのです。それが交わりが与えられる唯一の場所なのです。

34 ニムロドは塔を建て、ネブカドネザルは都市などを建てました。彼らは科学者やすべてを使いますが、それが血であったことはそれ以来今でも残っているのです。それは、神はそれが無実の代用品であり、罪を犯した人の代わりの許しをしなければならぬという彼の決断を下しました、そしてそれは今夜も同じことであり、決してそれが変わることはありませんでした。

ヨブはそれによって生きました。ヨブ、聖書の中で最も古い本。その人に起こったすべての事を通して、それでも彼はエホバの要求を満たしていることを知っていたので、しっかりと立っていました。彼はそれが正しいことを知っていました。アブラハム、同じように。彼らの多くは。イスラエルはただ...に会ったのです...イスラエルが交わりを持つことができる場所は1つだけでした。それは流された血の下でした。「人はどこでもエルサレムで礼拝すべきである。」犠牲の捧げものが来るまで、礼拝はありませんでした。そしてその犠牲の捧げものは血でした。

35 今日、今日において、それでもその国がそうであるように十分に教育されており、彼らがそうであるように高度に文化的であり、原子を分割するための私たちの科学的研究のすべて、そして月にロケットを撃つために起こることは何でも、または衛星、またはそれが何であれを打ち上げているのです。私たちのすべての科学的研究、すべての宗派、すべての教育、すべての学校は、私たちを当初よりも神から遠ざけているだけなのです。

必要なのは、全能の神の御心の力に委ねられた心であり、聖霊がその人のしるしとしてやって来るそれだけなのです。「これらのしるしは信じる者に従う。」それは今までと変わらないままなのです。キリストがそう言われました。「全世界に出て行って、すべて創られたものに福音を宣べ伝えなさい。信じてバプテスマを受けた者は救われる。信じない者はのろわれます。そして、これらのしるしは信じる者たちに従うでしょう。」キリストにあった霊と命が礼拝者に臨むので、神が礼拝者を受け入れたのは聖霊の現れなのです。

36 流された血の下で、昔のユダヤ人を想像できますか？ほらここにいるのです、その道の先に。それ—それは贖いの日です。彼は犠牲を払うつもりです。彼は元気で太った雄牛を持っています。それがエホバの要求です。あるいは、彼は子羊、上質で太った子羊を飼っていると言うかもしれません。司祭がそれを調べて、傷があるかどうかを確認します。

そして、彼は礼拝の場所に行きます。彼は自分が罪人であることを悟ります。彼は間違ったことをしました。今、彼はこの犠牲の捧げものに手を置きます。犠牲に手を置くことによって、彼は自分の犠牲の捧げもので自分自身を識別するのです。そして、その喉が切られたとき、またはその命が奪われたとき。彼の手が彼の上に置かれ、彼の命が取られ、彼はその動物が死にかけているときの痛みを感じ、彼の手が血が噴出しているのです。彼はその動物が自分の代わりになっていることに気づきます。そして、彼はエホバが彼に要求したことを正確に行ったので、義化されて帰っていくのです。

37 そして、それは今日のクリスチャンと同じことです。それは日曜学校に年に何回もある日曜日にくることに限ってカードに署名することではありません。6か月間これ以上酒を飲まないという誓約でもありません。そういうものではないのです。それは、神から与えられた犠牲、神の赦し、イエス・キリストの頭に手を置き、カルバリーで肉の涙を感じるようなのです。そして、その時、バプテスマの中で彼と自分を同一視します。彼が死んで再びよみがえったとき、あなたは彼の名に埋葬され、新しい命の内に立ち上がって、キリストの中で新

しく創られたものとして歩むのです。それを誠実に行う時に。

38 エホバの命令でこれを行ったので、彼は義化されたと感じています。さて、ユダヤ人はエホバが彼に命じたことをしたので、義化されることができました。最後に…それは正しいことだったのです。エホバがそれをしました、そしてそれが彼が要求したものでした。しかし、ついにそれが家族の伝統となりました。それは贖罪の日が来て、多分ユダヤ人達は間違っていたことをしていたのでしょう。彼は言いました、「まあ、私はそれが贖罪の日だと信じています。子羊を連れて行ったほうがいいです。」ほら、それは家族の伝統になりました。彼らは誠意を持ってそれに行きませんでした。家族がそれをしてきていたので、彼らはただそれをしていただけでした。「それはただ、私たちがすべきことです。すべての家族がそれをしているので、私たちもそれをすべきです。」

そして、それはまさに私たちのキリスト教がしてきている所です。それがまさに私たちのペンテコステ派の動きが来ようとしているところです。それは家族の伝統なのです。分かりますか？私たちはしません—私たちは自分自身を犠牲(捧げもの)で識別してはいません。私たちは犠牲と共に死んでいるのです。私たちは…私たちは「ああ、私は教会に行って参加したので、私たちはクリスチャンです」と言います。教会に参加することに問題はありません。しかし、あなたが識別認識されるまで、あなたが彼に手を置き、あなたと彼が一つになるまで、キリストの霊があなたの中にあり、あなたがキリストの中にいるまで、あなたが神の息子と娘になるまで、そこにはありません」彼らが持つべき誠実さがないようなのです。それが儀式になります。今と同じように、人々がクリスチャンになるのは儀式なのです。

39 ここで少し前に、私はプレイヤーラインにいる若い女性に「あなたはクリスチャンですか？」と尋ねました。

彼女は言いました、「まあ、私はアメリカ人です、あなたは理解して下さいましょう。」さて、そのようにそれとは何の関係もありませんでした。

アメリカ人、アメリカ人であることは素晴らしいことですが、それはあなたがクリスチャンであるという意味ではありません。あなたは新たに生まれなければなりません。

別の女性に「あなたはクリスチャンですか？」と尋ねました。

なぜ、彼女はそんなに燃やされた気になったのか、「私はあなたに悟りをあたえます、私は毎晩ろうそくに火をつけています」と言いました。そのようにそれとは何の関係もありませんでした。

あなたはキリストと、あなたの中に生きる彼の命と同一視されなければなりません。それはあなたがキリストと同一視される時であり、キリストがあなたの中に住んでいる時なのです。それは儀式ではありません。それは教会に属するということでもありません。それはすべて良いことですが、あなたは本当の誠実さを理解しています。

40 私たちが癒しの礼拝に来るとき、あなたが識別のラインに気づくならば、それは常に「人々に悔い改めるように言いなさい」です。分かりますか？そういうことです、私たちの祈りが伝統になるまでは。私たちは夜にひざまずいてこう言います。「主よ、何某さんを祝福し、何某さんを祝福してください。これをしてください。そして、ジョンがこれをすべて行うのを助けてください。」あなたは神をマスコットにしたり、ある種のお手伝い少年にしたりしています。「神よ、あなたはこれをしなさい。そして、あなたはこれをするのです。そして、あなたはこれをしてくださいね。」それはイエスが私たちに祈るように言われた方法ではありません。

彼はこのように祈るように言いました。「天におられる我らの父よ、御名が崇められますように。御国が来ますように。御心が天で行われるように地でもおこなわれますように」と

しかし、私たちは神に、私たちのために何をすべきかを命じようとしています。

そしてそれが教会が冷え込んでいる理由なわけです。だからこそ、その地に來たばかりの大きいなるリバイバルが何百万人もの人々を教会に送り込んだのです。それは彼らはあなた方の内にある聖霊に彼のあなたの内にある役割の仕事させ、新しい命を作り、教会に来るために飢え渴かせ、教会から離れることが出来なくなるようにし、敬虔な悲しみに入らせる代わりに、これらの経験を使って彼らはそれを伝統とさせてしまっているのです。そしてそれがその状況なのです。チケットに署名したり、参加したりしないでください。キリストのいのちがあなたの中にあること、によってただあなたはそこに行きたいと望むのです。あなたの中に何かがあり、あなたを押し進めています。

41 わたしが昨日若い男に言っていたように、話の中で、ちょっとしたインタビュー。私は言いました。「私はインディアナ州のゲームの管理人だったとき、小さな泉を通り過ぎていました。そして、そこには…」

それはいつも私の人生で見た中で最も幸せな泉でした。インディアナ州の素晴らしい泉は、石灰岩の水の素晴らしい冷たい水で泡立っているのです。そしてある日、私は泉のそばで腰を下ろして話していました。モーセが燃えている茂みに行き行って話しかけたのと同じです。そして私は言いました「小さな泉、何があなたをとっても幸せにして、いつも泡立っているのですか？私が冬にここに来たとしても、あなたは泡立っています。私が春、秋、夏に来ると、いつでもあなたは泡立っています。それはおそらく、ウサギがあなたに来て飲んでくれるから幸せなんですか？」

さて、今、彼が話すことができれば、彼は「いいえ、それはそうではありません」と言うでしょう。

「まあ、おそらく鹿がやって来てあなたから飲むからでしょうか」と私は言います。

彼は「いいえ、そうではありません」と言うでしょう。

「さて、私がたまに来て、あなたから飲んでいてくれるからかもしれませんね。」と私は言います。

「いいえ、そうではありません。彼ら全員が来て飲んでくれてうれしいですが、それが私がいつも泡立っている理由ではありません。」

「まあ、何があなたをそのように泡立たせるのですか？何があなたをそんなに幸せにし、いつも湧き出ているのですか？」

彼が話すことができれば、「それは私ではありません。それは私の背後にある何かであり、私を後押ししています。」

42 それはクリスチャンの経験と同じやりかたなのです。それはあなたが解決しようとしている何かではありません。それはあなたの中で働いている背後にある何かです。上昇し、噴出するのは永遠の命です。彼が井戸でその女に言ったように、「それは永遠の命に湧き出る水の井戸になるでしょう」。彼がキリストと同一視されたとき、それは礼拝者の内にある何かなのです。なぜなら彼は彼が生きていることを知っているからです。しかし、私たちはそれが伝統になることを望んでいません。

43 イスラエルが彼らの犠牲と伝統をもって彼らが神の戒めが作られた場所に着いたとき、その時、強力な預言者イザヤが神から彼らに、主がこう仰せになられるとともに送られていたのです。どこか、どういうわけか、神はいつでもそれを取り除くことを恐れない人に手を置いて、正しいこと、どこかにどこかに連れて行くのです。イザヤ1章を読むならば、イザヤが立ち上がりました。私はここに書き出しました。イザヤは彼らに言った、「あなたがたがささげるエホバが要求した犠牲は、私の鼻には悪臭となっている。私は彼らを喜ばない。」わたしになんの益があるか。わたしは雄羊の燔祭と、肥えた獣の脂肪とに飽いている。わたしは雄牛あるいは小羊、あるいは雄やぎの血を喜ばない。彼らがそれを儀式としたので神はそれを喜ばなかったのです、彼らがそれを儀式としたからです。

そして、私たちが神の言葉を言い伝えや伝統として、儀式としてそれに来的时候、私たちは神の言葉を同じものにする事ができます。それが「主がこう仰せになられる」ということを知って、私たちはそれに来なければなりません。神がそれを約束されたなら、神は彼の約束にたち続けられるでしょう。彼はご自身の約束よりも大きい方です。彼はいつもそうなのです。アブラハムが言ったように、「彼は約束したことを実行することがお出来になるのです。」彼は御言葉を守るためにいつでもそれを行うことが出来る方なのです。

44 さて、イザヤは彼らに告げて、言いました。彼らがしていたこれらすべてのこと、彼らは誠実にそれをしていませんでした。彼らの他の人びとがそれをしていたという理由だけで彼らはそれをしていました。彼らがしていたのは…それをするのもまたエホバの要求だったからです。そして、家族全員がそれをしていました、そして、母親がそれをして、そして、祖父もそれをしていました。なぜ彼らはそれをする事ができなかったのですか？

今、私たちは同じことをしています。「私の祖父は長老派だったので、私も長老派です。私のパパはバプテストだったので、私もバプテストです」など。「そして、私のパパはペンテコステ派だったので、私もペンテコステ派です。」それではありません。

45 私たちは離れていることに気づく場所に来ています。私たちは神から離れています。そして、私たちはイ

エス・キリストの流された血に基づいてやって来ます。その血の下で、メソジスト、バプテスト、ルター派、長老派、ペンテコステ派のすべてが共通の理由で会うことができます。伝統、彼ら、または儀式に関係なく、彼らは1つの共通の事柄の下でそこで会うことができます、そしてそれはイエス・キリストの血の上にあります。

教会がある場所に戻り、その儀式から離れ、神の当初の計画に戻るまで、その人々は神の御国に生まれ、その教会には加わっていません。その時が、交わりが至る所で君臨する時となるのです。そして、人が違いを忘れて血の下で交わりを共にすることができる場所になると、「水が海を覆うように」、主の御霊が地球を覆うでしょう。私たち全員がバプテストの伝統、長老派の伝統、またはメソジストの伝統、ペンテコステ派の伝統の下に来ることはできません。しかし、それは神の最初の計画であるため、私たちは皆、イエス・キリストの血の下で出会い、交わりをすることができます。そうなのです。アーメン。そこには許しがあります。

46 メソジストはバプテストを見て頭を横向きに保つことができ、バプテストはペンテコステ派とバプテストに戻ったペンテコステ派を彼らの伝統に基づいて見るすることができます。しかし、イエス・キリストの血がすべての人を罪から清める十字架の下で彼らが出会うとき、彼はキリスト・イエスにおける新しく創られたものなのです。彼は兄弟です。彼がどのブランドでブランド化されていても、彼は兄弟です。それが私たち全員が出会うことができる1つの場所だからです。それが神のやり方です。これらの他のものは、これに注入された人工の信条です。しかし、神の最初の赦しの計画は、イエス・キリストの血の下にあります。それが神の計画です。はい。

47 当時の伝統の中で、偉大なる預言者は叫びました、そして彼は言いました、「あなた方の言い伝え(伝統)は無力である。彼らはわたしの前で悪臭を放つ。それらに信仰をもってはならない。」人々は自分たちがしていることに信仰をもつことさえせずに、これらの供え物を捧げていました。

それでは、自分自身に質問してみましょう。それは今日のような物ではありませんか？出来る限りそれを言いたくはないのですが、どこかでそれに直面しなければならないのです。どこかに問題があります。

つまり、この教会は、現在の場所まで、100万マイル先にあるべきなのです。イエスは教会が準備が整うのを待っておられるのです。「彼の花嫁は準備を整えました。」私たちは可能性を得ました。聖霊はここにいます。神はここにいます、病人を癒す力、キリストがしたすべてのことをする力。私自身、聖霊によってそれが示されているのを見てきました。だから、可能性はここにいます。

神が私たちが逃げるのを待っているのは、私たちの伝統であり、御子イエス・キリストの血の下に戻って、生ける神の教会になることなのです。メソジスト、バプテスト、ルター派、長老派、その他何でも、「誰でも自由に来て命の水を手に入れることができる」。私はそれがすべて私の中にあると信じています。私たちは…神はそれをするために聖霊を遣わされました。

しかし、私たちの儀式では、誠実さを欠いて行くのは、それが私たちの伝統であり、儀式だからです。私たちは誠実さもなく、本当に罪の悲しみもなく行っているのです。

48 先日の夜、カリフォルニアでの有名な兄弟の一人の有名な集会で気づきました。そして私とその集会で気が付いたのはひとびとが来ていたのが若いティーンエイジャーの子供達だったのです。私はその兄弟の素晴らしい立場を称賛しました。誰もがそうするでしょう。あなたが位置づけているなら、彼が終りの時にどのような場所にいたかを見てください、あなたもそうするでしょう。そして、私がそれらの人々が祭壇に降りてくるのに気づいたとき、決断を下すために、女の子がチューインガムを噛んでいる、男の子がお互いにパンチしている、人々hあ笑っている、それは敬虔な悲しみに来る方法ではありません。あなたは有罪判決を受けなければなりません。神様、私たちに昔ながらのペンテコステの聖霊のリバイバルを送ってください。それは罪を根にもたらし、男性と女性に確信をもたらします。

「私は教会に戻り、交わりを更新します。カードに署名します。」と言うものではありません。それは良いのですが、メイソンやオッドフェローなどに参加しても、同じ結果を得ることができます。

しかし、あなたがイエス・キリストの血の神の許しの贖いの下に来るとき、そこには誠実さが置かれなければなりません。神は誠実さを要求されます。

もし彼にそのような代償を払うなら、彼のひとり子を与えるために、私たちは少し笑いながら、どうやって通り抜けて教会に参加し、決定カードを作ってそれを教会に持っていくことができるのでしょうか、なんでもいいのでしょうか？それは神の要求事項ではありません。「種を携え、涙を流して出て行く者は、束を携え、喜

びの声をあげて帰ってくるであろう。」羊の毛を連れてくる人が必要です。

49 偉大な伝道者が、彼の朝食の1つに出席していたときに、聖書を手に取って言ったことを聞きました…そして、私はいつも彼を賞賛していました。彼は言いました、「これが標準です。それが神が求めていることです。」彼は、「私は都市に行き、リバイバルをするでしょう」と言いました。「私は2万か3万人に決断をさせます。私は約4年か5年、あるいはおそらく2年後に戻ってきます」と言い、「15人か20人も見つけることは出来ません」と言いました。「聖パウロは都市に入り、1人の改宗者を作りました。彼は別の年に戻ってきました、彼はその年から30人か40人を持っていました。」と言ったのです。それから彼は言いました、「彼らの足を机の上に置いて、人々に会いに出かけないのは怠惰な説教者たちです。」

50 私は彼の兄弟たちを怒鳴りつけた彼の勇気と彼の信念に基づいた事柄を感じます。しかし、私は彼にこの質問をしたいと思います。「彼が行く教会がないのに、パウロの下にいる説教者は何と言ったのですか?」

それは何でしたか?パウロは、彼の魂が神のために燃えているときに、彼を伝統から連れ出しましたか、それともカードに署名して、聖霊のバプテスマに入れたのですか。彼は証言して物事を言わなければなりませんでした。彼の魂全体は、神がそこに入れた火の炎で燃えていました。今夜私たちに必要なのは、男性または女性が救われたというしるしです。彼らができるだけ早く他の魂を追いかけるのを見てください。

51 彼は言いましたかつてあるバーテンダーが…小さな男の子がやって来て言いました。バーテンダーさん?」

彼は「はい、息子よ」と言いました。

彼は「あなたの看板がおりにいる」と言いました。

彼は言った、「まあ、ありがとう、息子よ」。それで彼は外に出て、小さな男の子は彼の後ろに彼の手を組んで立っていました、そしてバーテンダーは見上げました。そして、宣伝されている大きな真鍮のプレートの上に大きな酒場がありました。彼はエプロンを取り、それを磨きました。彼は言いました、「息子よ、君は間違っているよ。私の看板は上がっています。」

彼は「いいえ」と言いました。「そうではない」と言った。「私はあなたの、あなたの最高の看板の事を言っているんです」と言いました。

彼は「それが私が得た最高のしるしだ」と言った。

彼は言いました「オー違いますよ。ほら、そこに横たわっています。」側溝の中に酔っぱらいが横たわっていました。それは彼が内側で売っていたものの影響下にある男を見たとき、彼が持っていた最高の看板でした。

そして、聖霊の影響下にある人を見ると、その人の命が昔ながらの五芒星の火で燃えるまで、それは彼が仕えるときにその人が救われるという神がこれまでに持っていた最高のしるし(看板)なのです。それが最高の印(看板)なのです。さて、それはどのように起こるのでしょうか?教会に加わることによってではなく、あなたの罪のない代理人であるイエス・キリストを通して彼の許しを受け入れることによってです。

52 誠実さも、罪に対する本当の悲しみもありません。彼は彼らの儀式から彼の顔を隠すと言いました。彼らの祈りは無力でした。彼らは確かに祈った。彼らはそこに上がり、彼らの祈りを言いました。彼らは犠牲を捧げました。形式になります。

第2テモテ、第3節、または第2テモテの第3章で、私たちが終りの時に得た事と同じことが言われていることを知っていますか?聖書はここで次のように述べています。「しかし、このことは知っておかねばならない。終りの時には、苦難の時代が来る。その時、人々は自分を愛する者、金を愛する者、大言壮語する者、高慢な者、神をそしめる者、親に逆らう者、恩を知らぬ者、神聖を汚す者、無情な者、融和しない者、そしめる者、無節制な者、粗暴な者、善を好まない者、裏切り者、乱暴者、高言をする者、神よりも快樂を愛する者、信心深い様子をしながらその実を捨てる者となるであろう。こうした人々を避けなさい。彼らの中には、人の家にもぐり込み、そして、さまざまの欲に心を奪われて、多くの罪を積み重ねている愚かな女どもを、とりこにしている者がある。彼女たちは、常に学んではいるが、いつになっても真理の知識に達することができない。」さて、聖書が教会が彼らがそこにいたのと同じ伝統を得る時が来ると予測しているなら、彼らの儀式によって、ここでもまた、伝統的な宗教であり、無力なのです。

53 「ああ」と彼らは言いました、「彼らは共産主義者でした。」いいえ、そうではありませんでした。

「ある種の信心深い様子を持っている。」彼らは教会に行きます。彼らは教会に加わります。彼らは、彼らが教会や物事に行き、外に出て違った生活をしていることを長い間見せようとしています。

彼らの魂には火がありません。何もありません。彼らは他の誰にも興味がありません。「彼らがそうしたいならば他の人全員が死んでもかまわない。私たちは救われたと感じています。残りの人たちを行かせてください。」それは本物のキリスト教ではありません。

キリスト教とは、失われた者を追いかけて、その兄弟を手に入れ、それについて何かをすることです。私たちが救われたと主張しても、立って手を組んで、あらゆる手で男性と女性が死んでいくのを見ることができずか？そして、通りは、教会に行く女性でいっぱい、ショートパンツと、そして化粧でべたべたにした顔をして、そしてタバコを手を持って通りを上へ下へと歩いています。そして—そして彼らの顔全体が化粧で塗られていて、それはキツネやオオカミか何かのように見えるのです。そして、男性は通りを行ったり来たり、教会に参加したり、そのようなことをしています。そして、それをキリスト教と呼び、あなたの平和を保つのですか？

54 聖パウロがツーソンを歩いていたら何をしようか？さて、私は彼らが朝が来る前に彼を刑務所に入れると言います。そうなのです。なぜですか？彼がそれをし続けることができなくなるまで、彼の魂は神のために燃えるでしょう。確かに。しかし、私たちは教会に加わります。ご覧のとおり、私たちの伝統は神の前で悪臭を放っています。

今日私たちが必要としているのは、「主がこう仰せになられる」という場面で預言者が現れ、それらを底から取り除き、悪臭になっているということなのです。私たちの宗派は成長しました。私たちの教会は大きく、かつてないほど素晴らしい教会です。ブリキの鍋を持って、再び路地に立って、ギターを使って、ドラムを叩いて、または何か他のものを使って、本物のペンテコステ(聖霊降臨/五旬節)の火が私たちの魂の中で燃えている状態で、大きな席に着くよりもはるかに良いでしょう。私たちが今日入り込んでいる死にかけた状態よりも。私たちの足元で、世界は死にかけています。はいそうです。

55 神には許しがあり、その許しはイエス・キリストを通してのみです。教育、伝統、宗派、科学、では何も起こりません。それはその血の下にあります。それは伝統の下にあります…伝統の下ではなく、イエス・キリストの血の下で、神は罪人に道を下さったのです、私たちが今までに会うことができる唯一の方法なのです。

私はあなたに言います、あなたはメソジスト、バプテスト、長老派、ルター派、そしてペンテコステ派を取り、それぞれをその血の下に入れさせます、彼らは兄弟です。その時、彼らについて大騒ぎすることはありません。いいえ。彼らは兄弟です。彼らはすべてを同じように見えています。しかし、あなたはメソジストにバプテストの順序でバプテストと大騒ぎさせました。ワンネスと三位一体、または三位一体とワンネスとを大騒ぎさせ、それ以上に、大騒ぎと髪の毛が上がるのを見てください。しかし、彼らを両方とも十字架の下に入れて、何が起こるかを見てください。

[テープ上の空白のスポット—編集]

そして、私が死ぬまでそうなるでしょう。

それから、より高貴で優しい歌で、

この救うための力を歌います。

このかわいそうな舌がどもるとき

墓に沈黙がいる時。

56 私は今夜、イエス・キリストの血がメソジスト、バプテスト、ルター派、長老派、彼が何であれ、私の兄弟になったという証言します。はいそうです。彼の霊は兄弟であるため、その人には何かがあります。彼は大騒ぎではなく、他の何かでもありません。それは…彼はキリストにおける兄弟なのです。彼はその聖書にあるすべての言葉を信じています。

聖書を書いた聖霊はどのようにしてそれを否定することができますか？ある人の中に生きている聖霊が、どうして「ああ、それは弟子たちのためだった」と言うことができるのでしょうか？

イエスは、「誰でもする」と言われました。

ペテロは言いました、「この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである」。(使徒行伝2:39参照:口語訳抜粋)聖霊は神が召命された者たち全てのためのものでした。

ここで彼は、「彼があらかじめ定められた者たち、彼が予見していた者達」と言われました。彼は定め、彼らはそれを受け入れました。

「わたしをつかわされた父が引きよせて下さらなければ、だれもわたしに来ることはできない。」とイエスは言いました。そして、父から聞いて学び私に与えられた者達は、みなわたしに来るのである。」

57 私たちは精巧な感情でやって来ますか？私たちは教会に参加するようになりますか？地獄に行きたくないから来ますか？それとも、私たちは神を愛しているので、「彼がひとり子を与え、神を信じる者は誰でも永遠の命を持つべきである」という理由で来るのでしょうか？それは神が私たちに与えてくださる愛の犠牲であり、私たちがそれを表示するために来るのでしょうか？

神は無力な宗教を憎んでいます。彼らの宗教には力がありません。では、彼は今日まで何をしなければならぬのでしょうか？彼は…が嫌いです毎回、聖書では、その神は今までに…外では、聖書のこちら側で、改革やリバイバルが起こるたびに、それは大きなしるしと力に支えられていました。ルターが出てきたとき、ウェズリーが出てきたとき、すべての改革者、サンキー、フィニー、ノックス、カルバン、誰でも、そこに来たとき、力が示されました。神がおられるところ、彼は超自然的です。神がご自身を示されるところには、超自然的なものがない限りなりません。

58 イエス様に来たその時代のパリサイ人たちを見てください。彼らは柔和さとやさしさについて話していました。「その老司祭よりも優しい人は誰ですか？誰が彼らの司祭よりも偉大でしたか？彼はあなたが生まれたときにあなたのところに来ます。近所に大騒ぎがあったら、彼は来てそれを解決します。そして彼は常に仲裁者なのです。彼は愛情深い人です。あなたは彼がそうであることを知っています。あなたが困っているとき、あなたは彼のところに行くことができます、彼はあなたを助けます。いい人はどうですか？」

次に、このナザレのイエスについて話します。「この司祭、私たちは彼の父親が誰であるか、彼の父親の父親、彼の父親の父親を知っています。ここに彼を識別認定する学校があります。このナザレのイエスとは誰ですか？彼はどの学校から来ましたか？彼はどの組織に属していますか？彼は何をしますかそれともいつも大騒ぎしていますか？彼はあなたの優しい年老いた司祭について何と言っていますか？「彼は悪魔のものだ」とイエスは言われました。「あなたは—あなたは…悪魔はあなたがたの父であり、彼の業をあなたがたがするでしょう。」想像できますか？」

彼は神殿に上がり、怒りをもって人々を見つめ、エホバが要求した犠牲を蹴り飛ばし、「『私の父の家は祈りの家として創られている』と書かれる、そしてあなたがたはそれを強盗の巣窟にした」と叫びました。」

もし彼が私たちの現代の教会に来たら、彼は今日何をやるのでしょうか？彼はそれをバラバラに引き裂くので、もっとテーブルを動かしたり座席がジャンプしたりするでしょう。そうです。それは同じことでしょう。分かりませんか、イエスは非常に聖書的です。彼はみことばでした。彼は何も書く必要はなかった。彼はみことばでした。彼は生きたみことばでした。そして、人々はそれを認識できません。

59 そして、今日の人々が、イエスが約束されたことの原則に基づいて、どのようにできるのでしょうか。そしてこの全世界への祝福。そして聖霊は最初と同じように、誰でも神が呼ばれる者の上に降るのです。どのようにして人は自分をクリスチャンと呼びながら、その言葉を否定し、聖霊が彼の中にあるとすることができるのでしょうか？聖霊はすべての神の言葉を「アーメン」で区切ります。その通りです。

ああ、兄弟、私たちの教育体制が私たちをそれから引き離しました。そして私たち—私たちの宗派は私たちをお互いからそしてキリストから引き離したのです。ただ何？彼らはそれを続けます。そして、あなたは代用品を取ります、他のこと、それは再びイチジクの葉にすぎません。神はそれを拒絶します。しかし、教会がイエス・キリストの血の下に来て、聖霊の印が彼らの上にあるとき、あなたは再び兄弟愛を見ることになります。あなたは力に満ちた教会を見るでしょう。あなたは行くつもりです。

60 神は無力な宗教を憎んでいます。それは力でなければなりません。確かに。それは人を罪から救う力です。それは、イエス・キリストが約束したように、しるしや不思議、奇跡を起こすことができる力です。彼らはそこに戻って神の言葉に焦点を合わせ、それを信じて、目標を達成しました。あなたは神の言葉を同じようにゼロにします。再び目標を達成します。彼は昨日も今日もそしていつまでも変わることがないからです。神は無力な宗教を好まないのです。神はそれを望んでいません。神は実行したいのです。神は自分が生きていることを示したいのです。私たちの唯一の希望は復活です。そうですか？私たちの命の希望は復活、イエス・キリストの復活にあるのです。

61 ほら、神は彼の教会の中で働かたいのです。イエスは言われました、「私は世の終わりまで、いつもあなた方と共にいる。私がする業をあなた方もするであろう」ヨハネによる福音書14:12、「わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。」さて、教会はそれを否定しようとしています。より多くの会員を獲得し、より人気を博す方法を手に入れようとするのです。

さて、尋ねたいことがあります。神は彼の教会で実行しようとしています、そして教会は信条によって実行としています、そして2つは共に働くことができません。あなたは信条を取り除き、キリストを受け入れなければなりません。そして、どのようにそれを行うことができますか？彼が血を見たとき、血が誠実な心で適用され、イエス・キリストに手を置いたとき、そして神の前に真実である心を持ったとき。彼の過ちを告白し、聖霊から生まれるなら、神の御業が、神の言われた通りに続くのです。ええ、教会は彼らの信条を通して実行し、彼らが何人のメンバーを得ることができるかを見たいと思っています。神はクリスチャンを新たに生まれさせるために、血の力を通して実行したいと望んでいます。それがまさにその違いなのです。

するために、しなければならない、あなたは拒否しなければなりません。これを行うには、彼らは、信条を受け入れるために、聖霊とその実行力を拒否する必要があります。クリスチャンになるつもりなら、間違いを受け入れる前に真実を見なければなりません。できません…間違いを犯すためには、神の約束を踏み越える必要があることとなります。なぜなら、いつもあなたの前に赤いライトが点滅しているからです。「これは言葉です」。

62 あなたは「まあ、それは別の時代のためだった」と言います。キリストがみことばなので、今日のためです。そうですか？[会衆は「アーメン」と言います。一編集]ヨハネによる福音書1章、「初めにことばがあった、ことばは神と共にあった、ことばは神であった。そして、ことばは肉体を取って現れ、私たちの内に宿られた。」そして聖書は、「彼は昨日も今日もいつまでも変わることがない」と言っています。ですから、キリストがみことばであるならば、すべての約束は真実であり、それは昨日も今日もそしていつまでも変わることがないので、そうでなければなりません。それを信じて機能させるには、新しく生まれる信仰が必要です。ただ、伝統とともにそれを行うことはできません。それはうまく行きません。何よりも確かに、あなたはその血に来なければなりません。イスラエルが言った後…

63 イザヤが彼らの代用者を彼らの伝統によって汚染したとイスラエルに告げた後、別の預言者が現れました。(我々が今日閉じる前に)もう一人の偉大な預言者がその現場にやって来ました、そしてそれは洗礼者ヨハネでした。さて、彼は彼らに、イスラエルだけでなく、アダムの墮落した人種すべてにかかる子羊を指さしました。彼はあったと言った…神は子羊を送ることにしていました。そして、この子羊は異邦人、ユダヤ人、そして来る人すべての為でした。

子羊が彼の祭壇の十字架に釘付けになるまで、それほど長くはありませんでした。彼の血は流されました。聖霊が戻ってきました。さて、その古い動物の子羊が死んだとき、その動物の霊は戻れなかったので、血は国だけに適用されました。しかし今、アダムのすべての種族のために、流された神の小羊、彼の血、印(証拠)が聖霊の形で戻ってきて、礼拝者に来ました。さて、それが神が求めていることです。それがその時代に彼らがしたことです。そして、それが彼らがすることです…彼らは今日もそれをします。

さて、誰かが罪の重さを感じ、自分が間違っていることを知っているなら、聞いてください。許しがあり、その許しは神の子羊を通して来るのです。あなたはそれを信じますか？[会衆は「アーメン」と言います。一編集]それは子羊を通して、子羊の血を通してなのです。

64 私は一度小さな話をされました。それは私を大いに助けました。初期にある誘拐された少年がいました。皆さんは聖書の歴史と教会の歴史をとったと思います。そして…で…私はそれがキツネだったと信じています…いいえ、そうではありませんでした。それはニカイアの父、または聖パトリックの生涯でした。聖パトリックは実際には…それはただ名前が彼に与えられたものだったのです。彼の名前はサスカットでした。そして、彼は一たくさんのシーローバーに誘拐されて一養豚業者として雇われました。

そして、この話は、この子供が誘拐されて船に乗せられ、彼は自分の道を進んでいたという話になります。そして、年老いた船長はある日病気になり、死ぬ準備ができていました。そして彼はとても病気で、海に出ていて、白髪のひげを持った老人で彼のキャビンに横たわっていました。そして彼は彼の手、彼のデッキの人たちを呼び寄せて、「あなた方の中に聖書はありますか？」と言いました。「私が子供の頃、クリスチャンとして育てられていました。」と言いました。そして言いました「私は死にかけていますそして、そして、とにかく、私はこのように死にたくないのです。」彼は言いました、「あなたは神の言葉をもっていますか？だれかここに神

の言葉を持っている人はいますか?」

65 最後に、たくさんの男性の中の後ろの方にいた、小さな男の子が立ち上がり、彼は言いました。「先生、私は聖書を持っています。私はクリスチャンです。私はそれを私と一緒に荷物に入れてあります。」

彼は言った、「ここに来なさい、息子よ」。彼は言った、「あなたは聖書を自分にもっているという事ですか?」

彼は「はい」と言いました。「私の母と父はクリスチャンでした。私はまだ小さな小さな子供のときにキリストに命を捧げました。どこへ行っても彼の言葉を詰め込んできました。」「私はそれを私の心に置き、それは私の心の中にありました。」と言いました。

彼は、「息子よ、私が死ぬ前に、そこから何かを読んでください」と言いました。

そしてその小さな人はイザヤ書の53:5を開いて「そしてそれはこのように読めます、『しかし彼はわれわれのとがのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。私たちの平和の懲罰は彼にありました。そして、彼のうたれた傷によって私たちは癒された。』

そして、彼がそれを言ったとき、年老いた船長は「あなたは読み続けることができますか?」と言いました。

小さな男の子は「ここにコメントしてもいいですか?」と言いました。

そして、年老いた船長は若者に言った、「どうぞ」。

彼は言いました、「私のクリスチャンの母は、私が彼女から連れ去られる前に、言いました…実は、彼女は私にその聖句をよく読んでくれていました。そして、あなたは彼女がそれを読む方法を知っていますか?」

そして、年老いた船長は言いました、「いいえ、息子。あなたのクリスチャンのお母さんがそれを読む方法で聞きたいです。」

66 「彼女は言った…」彼は言いました、「彼女がそれを読む方法はここにありますが、『彼はウィリー・プルイットの咎のために傷つけられ、彼はウィリー・プルイットの不義のためにくだかれた。ウィリー・プルイットの懲罰は彼にありました。そして、彼のうたれた傷によってウィリー・プルイットは癒された。』

年老いた船長は言いました、「私はそれが好きです。私はそれが好きです。」「ああ、私の名前がそこでのみ読まれていたならば!」と言いました。「息子、あなたはそれができると思えますか?」と言いました。

彼は「やってみます」と言いました。彼は言いました、「彼はジョン・クォーツの咎のために傷つけられ、彼はジョン・クォーツの不義のためにくだかれた。ジョン・クォーツの平和の懲罰は彼にありました。そして彼のうたれた傷によってジョン・クォーツは癒された。」

涙が髭を流れ落ちながら、彼は言いました。「わしの服を取ってくれ。イエス・キリストが私を癒してくれました。私は彼に命を捧げます。」分かりますか?

67 ああ、友よ、もしあなたがそこでだけあなたの名前を読むことができたなら!ああ、私の名前が読めれば、「彼はウィリアム・ブラナムの咎のために傷つけられ、彼は砕かれた。」教会ではなく、信条だけではありません。「しかし、彼は私の不義のために砕かれたのです。私の平和の懲罰は彼にありました。そして彼のうたれた傷によってウィリアム・ブラナムは癒された。」ああ、もし私たちが自分の名前を聖書に読み込めて、本当にそれを意味することができるなら、それがそれをするのです。私たちの名前をそれに読み、受け入れることによって、許しを受けるのです。なぜなら、彼が私たちの咎のために傷つけられ、我々の不義のために砕かれたことに気が付いたときだからです。

68 もう一つのことは、ヘブライ人への手紙第9章11節で、許しが聖さを生み出し、礼拝者はもはや罪の意識を持たず、死んだ伝統から身を清めたことがわかります。私たちが本当に血の下に来るとき、私たちは死んだ伝統から清められます。その聖句がそう言っています、ヘブライ人への手紙第9章、「死んだ伝統からあなたの意識を清めなさい」を見てください。それから、あなたがそれをするなら、あなたがバプテストであることを忘れ、あなたがメソジストであることを忘れ、あなたがペンテコステ派であることを忘れ、そしてそれらの死んだ伝統を忘れて、そして血に来るのです。それに来てください。

その中であなたの名前を読んで、これをしてから、コミュニオンテーブルに来て、誰が正しいか間違っているか、それが閉じたコミュニオンになるかどうかを調べて、あなたがあなたの兄弟を締め出すことができるかどうか見てください。あなたはそれをするにはできません。あなたはただそれをするにはできません。あなたの中に何かがあります、それがあなたにそれをさせないのでしょうか。何かがありますね。それらの中であなたの名前が読まれたならば、あなたはそれをするにはできません。それはあなたを浄化します。それはあなたを浄化します。

69 私たちが十字架にひざまずいたときに彼を思い出し、彼が何であれ、彼をカトリックの司祭、長老派にさせましょう。彼がそこで彼の名前を読んでいる間、その人を来させてください、「彼はこの司祭の咎のために傷つけられ。彼はこのメソジスト、このバプテスト、このペンテコステのために傷つけられました。」何ですか？「私たち咎のために傷つけられ」私の名前、あなたの名前、あなたが何であれ。次に、それを信じさせてください。信条が言っていることではなくて。みことばが言うこと！それでは、一緒に十字架にひざまずきましょう。私たちは兄弟です。ああ、そうです、伝統、私たちはすべての死んだ伝統から自分自身を清められるのです。

40人の州の長老、40人の大祭司、枢機卿、司教、教皇、その他すべてが大声で叫んでいる可能性があります。「そこから立ち上がってください。自分を汚さないでください。」しかし、あなたはあなたの兄弟、兄弟の周りにあなたの腕を回しているのです。そこには現実の物があります。あなたは彼が許されているのと同じ贖罪の下で許しを得ています。あなたは兄弟であり、それは兄弟よりもしっかりと繋がっているのです。それはあなたを神にとっても近づける何かなのです。そして、あなたが神に近づくと、あなたはお互いに近づきます。

「どのようにして目に見える兄弟を憎んだりかろんじたりしている時に、目に見えない神を愛していると言えるのでしょうか？あなたはうそつきで、真理はあなたの中にはないのです。」

しかし、イエス・キリストの血がすべての罪から私たちを清める場所に来るとき、私たちは兄弟です。そうすれば、私たちに違いはありません。私たちが取り組んできた小さな古いブランドは、何の意味もありません。

70 私はそこで覚えています、私は先日門を通り過ぎて、私が牛を群れにしていたここにいる兄弟の一人について言及していました。そして、そこを通り抜けると、レンジャーはそれらの牛が泉の周りを通過したときにマークを付けます。そして彼は見ました。彼は決して…彼らにはあらゆる種類のブランドがありました。しかし、彼はそのブランドに気づきませんでした。彼は血のタグを見ていた。そして、それはサラブレッドのヘレフォードでなければなりません。さもなければ、ヘレフォード協会がそこで放牧するため、アラパホの森に行くことはできませんでした。それはサラブレッドのヘレフォードでなければなりません。

71 それが終わりの時のやり方になると思います。彼は「あなたはメソジストですか？あなたはバプテストでしたか？」とは言いません。

それが今日の大きな問題です。「—あなたは何ですか？あなたはメソジストそれともバプテストですか？」

私は「いいえ」と言いました。

「あなたは何ですか。長老派、ルター派、ナザレ派、ペンテコステ派？」

「いいえ。」

「あなたは何ですか？」

「クリスチャン。」

クリスチャン、血のタグ、ほら血の下です。それは、その血の下にいるすべての兄弟、姉妹が私の兄弟、姉妹であることを意味しています。キリストの前にそこに非常に深い誠意があります。私たち司祭、説教者、そして他の物たちなんでも、犠牲(捧げもの)に手を置いてこう言います。「私たちは罪を犯した罪人です。神様、私たちはあなたの憐れみを受けるにふさわしくありません。しかし、あなたは私たちの代わりに死ぬためにあなたの息子を送られました、そして私たちはそれを自由に受け入れます。」ああ、私たちはその時兄弟になるのです。

72 古い騒ぎはすべて終わりました。それはすべてなくなっています。誠実に許されているのです。あなたは

行き、許され、罪から清められ、伝統から清められたのです。古いものは消え去ったのです。古い騒ぎは終わりました。すべてのバプテスト、メソジスト、長老派は同じ血によって清められ、私たちは兄弟になります。伝統的な騒ぎは終わり、ここで交わりをすることができます。そしてそこでのみ、私たちは交わりをすることができます。

私は長老派がこれらの全福音ビジネスマンの集会に立ち、異言で語り、彼らができる限り激しく叫ぶのを見ました、そしてそこには最もよく知られた長老派の何人かは米国にいます。ジム・ブラウン、これまでに彼に何人が会いましたか、卓越した長老派、ここに立って御霊の中で踊り、異言で語り、ここで続け、そして米国で最も有名な長老派教会の一つの牧師です。ルター派、メソジスト派、長老派…すべて一緒に、それは何ですか？彼らは血の下に来たのでした。タグはありません。宗派の壁はありません。私たちは一つです。私たちはクリスチャンです。共通点があります。はい。ここで少し前に…

73 最後に。男と女がいて、夫と妻は別れようとしていました。そして彼らは再構築を図りました。彼らは精神科医のところに行き、彼が彼らの心を一緒に引き寄せることができるかどうか調べましたが、彼はできませんでした。彼らは一緒にいることを試みるために彼らが考えることができるすべてに行きました、しかし彼らはただ大騒ぎし、そして彼らは絶えず分裂していました。そして、彼らはお互いに我慢することが出来ず、お互いのいるところに一緒にいることに我慢できず、大騒ぎになっていました。それで、彼らは離婚することに決めました。

それで、彼らは彼らに離婚を与えるために弁護士を雇いました。そして彼は、「まあ、今、私たちがそれをする前に」と言いました、「私たちはその場所を売ります」。そして、「離婚してその場所が売られる前に、みなさんが降りて、戦利品を分け合った方がいい」と言いました。

74 それで、夫と妻は一緒に行きました。彼らはその家に行きました。そして彼らは居間に行き、彼女が「私がこれを持っていきます」と言いました。

そして彼は、「私はこれをもっていくつもりです」と言いました。

そして、彼らは大騒ぎし、お互いに熱くなり、続けました。しばらくすると、彼らは「まあ、あなたがこれを取るなら、私はあなたにこれをあげます」と言いました。大丈夫、それはしばらく続けました。それから彼らはパーラーやさまざまな場所、キッチン、そして寝室に行きました。彼らは戦利品を分けました。

75 そしてついに彼らは屋根裏部屋に何かがあったことを思い出しました。それで彼らは屋根裏部屋に上がり、古いトランクを引き出しました。そして、彼らはさまざまなものをレイアウトし始め、「あなたはこれ、あなたはこれを持つことができます」と言います。そしてついに彼らの両方の目が特定の小さな物に落ち、彼らは両方もそれをつかみました。そして、彼らはお互いを見ました。それは何でしたか？亡くなった赤ちゃんの小さな白い靴。それは両方の一部でした。そこで、そのように手を握りしめて、この赤ちゃんの靴の上に。本当に、それは誰のものでしたか？誰の物でしたか？それは彼ら両方のものでした。彼らには共通点がありました。

数分後、一方が他方を見ると、涙が頬を伝い始めました。それは何でしたか？彼らは他のすべてを分けることができました、しかし彼らが共通の何か、子供、そしてそれが天国にあるその子に彼らが来た時、その大騒ぎは終わりました。数分で、彼らはお互いの腕の中にいました。離婚は解決しました。平和が支配したのでした。

76 そして、兄弟たち、今夜あなたにこれを言わせてください。私たちはあなたが教会に加入することは望んでいません。しかし、私はあなたにこれを求めています。私たちに共通していることが1つあります。それはイエス・キリストです。彼は私たちの中で共通しているのです。私たち全員がバプテストになることはできません。私たち全員がメソジストになることはできません。私たち全員がワンネス、スリーネス、またはそれが何であれになることはできません。それはできません。しかし、私たちに共通していることが1つあります。それは、神、彼の御子、イエス・キリストの許しの申し出です。私たちは彼のうちにすべてのものを持っています。しかし我々にとって最初にするのは受け入れることです。そうすれば、神が私たちに与えてくださった許しを受け入れるとき、私たちは他のものを得ることができます。そして、それは私たちの教育システムや宗派システムを通してではなく、イエス・キリストの血を通してなされるのです。私たちは皆、十字架の下で会い、一つになり、共通点を持つことができます。あなたはそれを信じますか？[会衆は「アーメン」と言います。一編集]祈る間少し頭を下げましょう。

[ある姉妹が勧めを始めます。テープ上の空白のスポット一編集]アーメン。

77 頭を下げて、確かに心をへりくだり、今心をへりくだらせ。頭を下げて、「主よ、今、私の心をへりくだらせ、私の伝統のすべてと共にあることは、正しいのか間違っているのですか?」と言いましょ。聖霊に今、心の中を探らせましょ。そして、それが本来あるべき場所であるだけでなく、そして最後の祈りの中で覚えられたいのであれば、私たち全員が一つのこと、血、贖罪の下で会うことができることを知って下さい。そして私たちがそうするとき、私たちは世のすべてのものから清められます。そして、あなたは祈りの中で覚えてもらいたいのですが、神に手を挙げてそれを知らせていただけますか?「再…」と言います神の祝福がありますように。ああ、何と素晴らしい、手!「主よ、私を覚えておいてください。」

78 この地球を散歩する日があまりたくさん残っていないことを認識していますか?あなたは「まあ、私は若い」と言います。わかります。知らないけど、姉妹、兄弟、今夜、世界中で何百人ものティーンエイジャーが死ぬことになるでしょう。いいえ、あなたが持っている唯一のものはあなたに残っている息です。

このとき、「主なる神様、私の手を挙げて、あなたが申し出た許し、イエス・キリストの血を受け入れます」と言いますか?」さて、血からの印、聖霊wお私に來させてくださいますように。私は聖霊を受けていません。私一私はそれを知っています。そして、私は、あなたが話している方法を感じさせ、私の罪がすべてなくなったという何かを受け取りたいのです。そして世、世の愛は私から離れ、私は新しく創られたものなのです。それを心の中で知りたいです。そして、神様、私はブラナム兄弟に手を挙げているのではなく、あなたに手を挙げています。あなたは私の心をご存知です。」そして、誰も見上げないでください。ただ神にこれを一人で見させてください。そして、「神様、私一私一血が私に適用されたという印が欲しいのです。そして、私はそれが欲しいのです。」

手を挙げて、「私のために祈ってください、ブラナム兄弟」と言ってください。主があなたを祝福します。大丈夫です。

79 メソジスト、バプテスト、長老派、あなたが何であれ、それは誰のためでもあります。今、私は…それらの教会に敵対して何かを全く言うてはいません。彼ら、彼らは大丈夫です。しかし、私が言おうとしていることは、それが救うことはないということです。わかりますか?

それは神の許し、恵みによる許しがなければなりません。そして、それは教会を通してではなく、イエス・キリストの血を通してのみ表されます。それがあなたの代理人です。あなたが彼に手を置いてこう言うことができるとき、「今、私はこの代理人を受け入れます。神よ、私を憐れんでください。」

そして多分この教会に加わっている教会員たちで良き誠意を持っている人達がいるでしょう。あなたは心から誠意を持って加入されたと思います。しかし、あなたは言います。「ブラナム兄弟、本当に、私の心はこれらすべての伝統や物事から清められていません。私一誰かが私がしている教会そのものに反対して話すとしたら…聖書が言っても、私に言ってください、私は私の教会が間違っていることを聖書によって証明されるでしょう、私はまだそれを心から受け入れることができませんでした。できませんでしたが、やりたいです。私のために祈ってください。」と言ってください。「祈って」と言って手を挙げていただけませんか?「やります。はい、確かにそうします。」神の祝福がありますように。それは良いことです。大丈夫です。「私は、神が聖書でされたのと同じように、神が言われたすべてを受け入れることができるようになりたいのです。そして、私はイエス・キリストの血が私に臨んで欲しいのです。」

80 そして、血が適用された場合、その印!ほら、血の印が与えられるとそこにあるのです、それが聖霊です。そして、そのペンテコステの日に聖霊が降りてきたとき、あなたはそれが人々に何をしたかを知っています。そして、それが人々に起こるたびに、それはまったく同じことをするのです。ペテロは、「この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである」と言いました。これと同じ約束です。

ここで10セントが10セントだとすると、そこでも10セントです。どこにいても10セントです。これがここでダイヤモンドなら、そこでもダイヤモンドです。これがここで家なら、そこでも家です。

そして、これがペンテコステの日に降った聖霊であるならば、それは今日も同じ聖霊です。そしてその経験を見出したことはありませんか?私たちが祈っている間、今それを受け入れてくれませんか?

81 私たちの天の父は、太陽が急速に沈むことを知っていて、時はもはやなくなるでしょう。いつの日か、偉大な大天使が永遠の外から時の場面に足を踏み入れるでしょう。そして、神のラッパが鳴り、すべての男性と女性が、私たちが知っている真理、神の言葉に答えることになります。神がこの地上で持っていなければならない、私たちが裁かれる基準がなければなりません。そして、もし私たちが私たちの教会の基準、私たちの

宗派をとったなら、私たちはそれをどこまで見逃すでしょう!そして、どの宗派が正しいでしょうか?そうすると、私たちは混乱するでしょう。どうしたらいいかわかりません。しかし、基準があり、それがあなたの御言葉なのです。

そしてあなたの御言葉で、「人は新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない」と言われました。言い換えれば、彼はそれを理解することができません。彼は信仰によってそれを受け入れ、そして新たに生まれなければなりません、そうすれば彼はそれを理解するでしょう。見るというのは「理解する」ことです。

82 そして、神様、今夜、この建物中、街のビジネスマン、そして女性、少年、少女の多くの手が今夜上がるように、私たちは誠意を持って手を挙げてくれると信じて祈っています。さて、彼らは確信がなければ手を上げることはできませんでした。そして、聖霊は彼らによって、彼らが間違っていることを証明し、彼らが正しいことを望んでいるという確信をもたらしました。そして彼らは、いつかあなたに会わなければならないことを知って、偉大な創造主であるあなたに手を挙げました。そして、彼らは誠実であった、と私は信じています、主よ、そして私は一人一人のためにとりなしをしています。私は今夜、主よ、私が祈るとき、聖霊が彼らの命を満たすまで、挙げられた一つの手でも降りることはできないと信頼しています。主よ、それを認めてください。私がかれらをイエス・キリストのトロフィーのために要求します。そうしてくださいますように、主よ、祈ります。失われたものを救ってください。

83 キリストを受け入れた人々を聖霊で満たしてください。父よ、彼らの魂にそれを注ぎ出してください。あなたの栄光に入れますように。

イエス様、あなたは私たちに言われました、「私の父が最初に彼を引き寄せない限り、だれも私に来ることはできません。」「そして信仰は、聞くことによって神の言葉を聞くことによってもたらされます。」そして今、神の言葉が説教され、信仰は聞くことによってもたらされるのです。そして、聖書がこう言ったので、彼らは引き寄せられました。「彼があらかじめ知り、あらかじめ定めたもの達。そして、彼があらかじめ定めた人々を、彼は呼ばれました。そして、彼が呼ばれた人々に、彼は永遠の命を与えました。」

そして今、初めに戻って、世のはじまる前に、あなたは彼らの名前を子羊の命の書に書かれていました。そして今夜、聖霊が召されました。そして彼らは手を挙げた。さて、主よ、彼らに永遠の命を与えてください。私は神の栄光のためにそれを求めます。聖霊が彼らの心に降りてきて、すべての死んだ業と伝統から彼らを割礼し、彼らに自由な許しを与えてくださいますように。そして、彼らを彼のご臨在によって満たしてください。そうすれば、彼らがこの時代において、暗闇の時の中から出て行くことができるように。ちょうどソドムの時代に化粧を塗らたくっていた女性達、その国の倫理をゆすっていた時のように。

主なる神様、男性と女性が燃える炎のように出て行きますように。主よ、聖霊が文字通り彼らに聖なる火を送り、彼らが神の善に満ち、そして彼らが出て行き、彼らが接触するすべての罪人を十字架に召しますように。主よ、彼らも下り許しを見つけることができる場所にそれを認めてくださいますように。メソジスト、バプテスト、長老派、ペンテコステ派、そしてすべてに主よそれをしてくださいますように。認めて下さい。彼らは今あなたのものです。私は彼らをあなたの手に委ねます、あなたがこれを彼らに認めて下さいますように。イエス・キリストの御名によって。アーメン。

84 あなたは彼を愛していますか?[会衆は「アーメン」と言います。一編集]私は…これは少し秩序が乱れている可能性があります。ちょっと待ってください。この古き良き賛美歌を歌いましょう。私は歌うのが大好きです。ご存知のように…時々、説教の中で、あなたは切れる事を言います、しかしそこに一ギレアデには魂を癒す香油がありませんか?【「アーメン」】

よろしければ、この古き良き歌を歌いましょう。「愛しています。彼が最初に愛してくれたので、私は彼を愛しています。」その歌を知っていますか?【「アーメン」】誰かが今私のためにそれを導いてください。

愛しています、私は彼を愛しています
彼が最初に私を愛してくれたから
そして私の救いを買って下さった
カルバリーの木の上で。

85 ハミングしましょう。[ブラナム兄弟は私は彼を愛しているのハミングを始めます一編集]さて、あなたが私は彼を愛していますをハミングしている間、ここには何人のバプテスト派がいますか?手を挙げてください。長老派、ルター派、ナザレ派、ピリグラムホーリネス派、ペンテコステ派?そこに、何と、人々に!すべて一緒に…[ブラナム兄弟は私は彼を愛しているをハミングし続けます。]許しの恵みの下で十字架の下に来たと

き、私たちは今何をしましたか？私たちは皆、私たちの教会によってではなく、カルバリーによって許されています。

もう一度歌っている時に、メソジスト、バプテスト、ペンテコステ派と握手しましょう。「私は…」[ブランナム兄弟は彼の近くの人たちと握手します—編集]
彼が最初に私を愛してくれたから
そして私の救いを買って下さった
カルバリーの木の上で…

今、私たちはそれを歌って、一人一人がそれを聞くことができますようにします。さあ、頭を下げ、両手を神に向けてあげましょう。そして、私たちが心から彼を愛しているなら、今そう言ひましょう。
私は彼を愛しています(神さま!)、私は彼を愛しています
なぜなら…



www.messagehub.info

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7